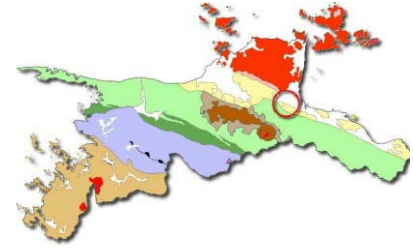


西条市小松町南川

土石流堆積物

西条市立小松中学校の南600m

キーワード 礫、土石流



イメージ

土石流



露頭全景

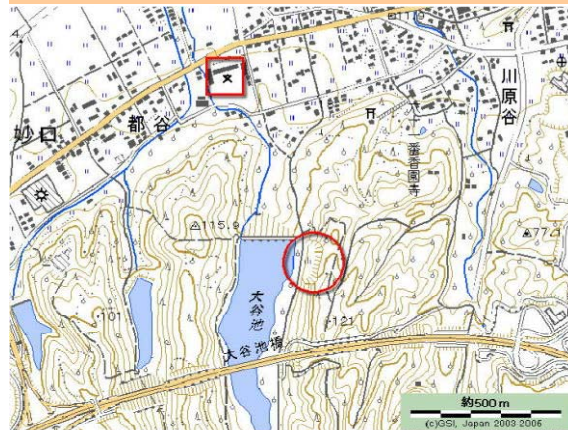
礫層を観察することができる。この礫層は、未固結であり現在も降雨によって侵食されている。含まれる礫の淘汰度は悪く、大小様々な大きさのものが観察される。また、礫以外の部分は、砂～粘土まで含まれており、やはり淘汰度が悪い。これらのことから、この堆積物は、土石流堆積物であると考えられる。含まれる礫の種類は、砂岩、結晶片岩などである。

露頭を詳しく観察すると、礫をほとんど含まない粘土層、礫の長軸方向がほぼ同じ方向を向いているインブリケーションと呼ばれる堆積構造、礫層が不連続であること、その不連続な面が水平でなく凹凸があることなどが観察される。これらのことから、この露頭が1回の土石流ではなく、規模の異なる数度の堆積があったことが考えられる。

〔地層について〕

この露頭の地層は、岡村層と呼ばれる。伊予市森の郡中層とほぼ同時代(鮮新世～更新世)の地層である。岡村層の層厚は50m以上とされているが基底部は不明である。この露頭の傾斜はあまり大きくないが、他の地点では60°以上の傾斜のところがある。岡村層の南側に分布する和泉層群とは、岡村断層で接している。

観察地点



国土地理院発行2万5千分1地形図「伊予小松」を使用した

	堆積岩	▲
	火成岩	
	変成岩	
新生代	第四紀	▲
	第三紀	▲
中生代	白亜紀	
	ジュラ紀	
	トリアス紀	
古生代	ペルム紀	
	石炭紀	
	デボン紀	
	シルル紀	
	オルドビス紀	
	カンブリア紀	
	先カンブリア時代	